

平成30年度 学校自己評価 中間報告

評価の観点	A	B	C	D	計		A	B	C	D
1 一人一人が不安なく安心して学校生活を送れるように、学習環境のユニバーサルデザイン化やスタートカリキュラム、少人数学習、道徳、人権同和教育に積極的に取り組むことができたか。	3	22	2	1	28	1個の指導支援	11%	79%	7%	4%
2 体育の授業や全校運動、運動会などの教育活動を通して、児童に体を動かすことの楽しさやできるようになる喜びを味わわせることができたか。	6	14	6	1	27	2体力作り指導	22%	52%	22%	4%
3 学習問題や学習課題、1時間の授業の流れなどを明示し、一人一人に見通しを持たせ児童が主体的・意欲的に取り組める授業が展開できたか。	3	20	6	0	29	3授業づくり	10%	69%	21%	0%
4 授業終末のまとめや朝ドリルを確実にしたり、家庭学習の内容を工夫したりすることで、習熟・定着を図る指導ができたか。	3	18	6	1	28	4基礎基本定着	11%	64%	21%	4%
5 「ことば名人」「声のものさし」を活用し、「はい」の返事や話し方・聞き方などの習慣を身につけさせることができたか。	4	13	12	1	30	5学習習慣・規律	13%	43%	40%	3%
6 学習内容や場に応じた学習形態(個別、ペア、グループ、全体)を工夫し、児童が主体的に学び合うことのできる授業を展開することができたか。	5	16	7	1	29	6学習形態工夫	17%	55%	24%	3%
7 「おはようございます」「こんにちは」などのあいさつの大切さを指導し、児童に実践力を身につけさせることができたか。	6	15	9	0	30	7あいさつ指導	20%	50%	30%	0%
8 「なかよし学級活動」を、児童同士の心の交流や互いを高め合うための場として位置づけることができていたか。	4	12	12	0	28	8縦割り活動支援	14%	43%	43%	0%
9 「気づき・共同・黙動」清掃の指導を継続して行うことで、児童に主体性や粘り強さを身につけさせ、協力して働くことの大切さを味わわせることができたか。	2	15	17	0	34	9清掃指導	6%	44%	50%	0%
10 授業改善を意識した授業や児童一人一人を大切に授業を保護者に公開することで、学習指導・学級経営について保護者に理解してもらえたか。	1	22	4	0	27	10授業の保護者理解	4%	81%	15%	0%
11 「学校だより」(月1回)、ホームページ(月1更新)、「学年だより」(週1回)、「学級だより」(適宜)などで学校や児童の様子について保護者・地域に伝えることができたか。	2	21	5	0	28	11情報発信	7%	75%	18%	0%
12 ふれあい隊の方々やPTAと協力して、児童の登下校時の街頭指導や下校パトロールを行ったり、地区の危険箇所点検を行ったりして児童の安全確保に努めたか。	6	20	3	0	29	12安全確保	21%	69%	10%	0%
13 神科小コミュニティスクール(おたすけ十有志隊等)を活用し、地域や保護者の方々に児童の支援や授業づくりに参画していただくことができたか。	4	16	6	1	27	13授業への参画	15%	59%	22%	4%
14 年に1回は授業を公開し、互いに見合い学び合うことを通して、授業改善のための研修を深めることができたか。	4	16	4	0	24	14職員研修	17%	67%	17%	0%

